所沢市立美原中学校

学校だより 特別号

令和４年度　特別号
１１月１７日（木）

学　校　教　育　目　標
・進んで学ぶ生徒（知）
・心豊かな生徒（徳）
・たくましい生徒（体）

令和４年度　美原中学校　学力調査の分析結果

埼玉県学力・学習状況調査　令和４年５月１７日（火）実施
対象：１年生（国・数・質問紙）
　　２年生（国・数・英・質問紙）
　　３年生（国・数・英・質問紙）
全国学力・学習状況調査　　令和４年４月１９日（火）実施
対象：３年生（国・数・理・質問紙）

１年生

国語

・全体的な傾向として、埼玉県の平均正答率を若干上回る結果となりました。問題形式別に見ると、選択式、短答式の設問には県平均を上回る正答率でしたが、記述式の問題は県平均を下回り課題が見られました。この結果を受け、話合い活動や表現活動を充実させた授業に一層取り組んでいきます。

数学

・全体的な傾向として、埼玉県の平均正答率と同程度の正答率となりました。「変化と関係」や「データの活用」については、県平均を上回る正答率となりました。問題別で見ると、小数の理解にやや課題が見られました。授業においては、復習を大切にしながら基礎・基本の理解の定着を図りつつ、発展的な課題にもチャレンジできるよう取り組んでいきます。

質問紙

・「登下校時刻を守ることができていますか」という質問に対し、約８４％の生徒が「あてはまる」と答えることができています。一方、「勉強するときは，最初に計画を立ててから始める」などの数値が低く、課題が見られます。目標を立て、計画的に学習に取り組むことを見届けていくことを着実に実施していきます。

２年生

国語

・全体的な傾向として、埼玉県の平均正答率を上回る結果となりました。学力を伸ばした生徒の割合も県平均を上回りました。問題形式別に見ると、選択式、短答式の設問には県平均を上回る正答率でしたが、記述式の問題は県平均を下回り課題が見られました。今後も自分の考えを書くなど表現する授業を通し、表現力を伸ばしていきます。

数学

・全体的な傾向として、埼玉県の平均正答率を上回る正答率となりました。学力を伸ばした生徒の割合も県平均を上回りました。計算や方程式、比例式を解くなどの計算の正答率が高いことから、基礎理解の定着が学力を伸ばすことにつながっていると考えられます。

英語

・全体的な傾向として、埼玉県の平均正答率を上回る正答率となりました。学力を伸ばした生徒の割合も県平均を上回りました。記述式の問題の正答率も高く、自己表現活動に継続して取り組んでいる成果がうかがえます。

質問紙

・「将来の夢や目標をもっていますか」は、３９．６％で県平均（４７．６％）を下回っています。学力を進路・キャリア教育に関連づけていくかが今後の課題であり、授業改善につなげていきます。

３年生

国語

・全体的な傾向として、埼玉県の平均正答率と同程度の正答率となりました。主語・述語の理解が県平均を上回りましたが、要旨の理解、古文の理解などにやや課題が見られました。内容を確認する質問を授業においても定期的に出題し、内容理解の確認を行っていきます。

数学

・全体的な傾向として、埼玉県の平均正答率と同程度の正答率となりました。学力の伸びは県平均をやや下回りました。領域別では、図形が県平均を上回り、データの活用が県平均を下回る結果となりました。基礎基本の徹底を図りつつデータを分析し、活用する能力を身につける授業を展開していきます。

英語

・全体的な傾向として、埼玉県の平均正答率を若干上回る正答率となりました。短い会話文の内容を理解することの正答率が高い結果となりました。図表を含むポスターを読んでの内容理解にやや課題が見られました。今後は、様々な英文を読み、重要な内容を理解する力をつける授業を展開していきます。

質問紙

・「学習の準備を整え，授業に臨むことができていますか」は６９．６％で県平均５６．８％を大きく上回っています。学年で指導を継続してきた結果、よい学習習慣がついている生徒が多くなったと考えられます。３学年の最後まで指導を継続し、学力を向上させていきたいと考えます。

理科

・全体的な傾向として、全国の平均正答率を若干上回る正答率となりました。領域別に見ても「知識・技能」、「思考・判断・表現」ともに平均を超えておりバランスの取れた学力が身についています。単元別では得意とする分野、苦手とする分野がはっきりしている箇所もあるので単元ごとの理解について注視しながら授業をすすめていきます。

美原中 QR コード

美原中 HP

学校便り

おやじの会 HP